

# 第V章 介護保障

## 1. 介護に対する不安意識

ここでは、介護に対する不安意識について、その程度や内容について捉えている。

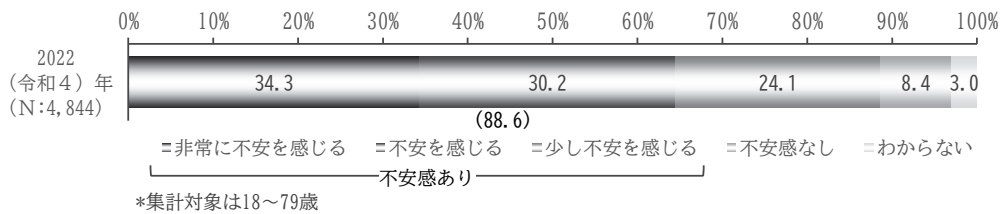
### (1) 自分の介護に対する不安の有無

まず、自分が将来要介護状態になった場合の不安の有無と程度を捉えるため、以下のように尋ねた。

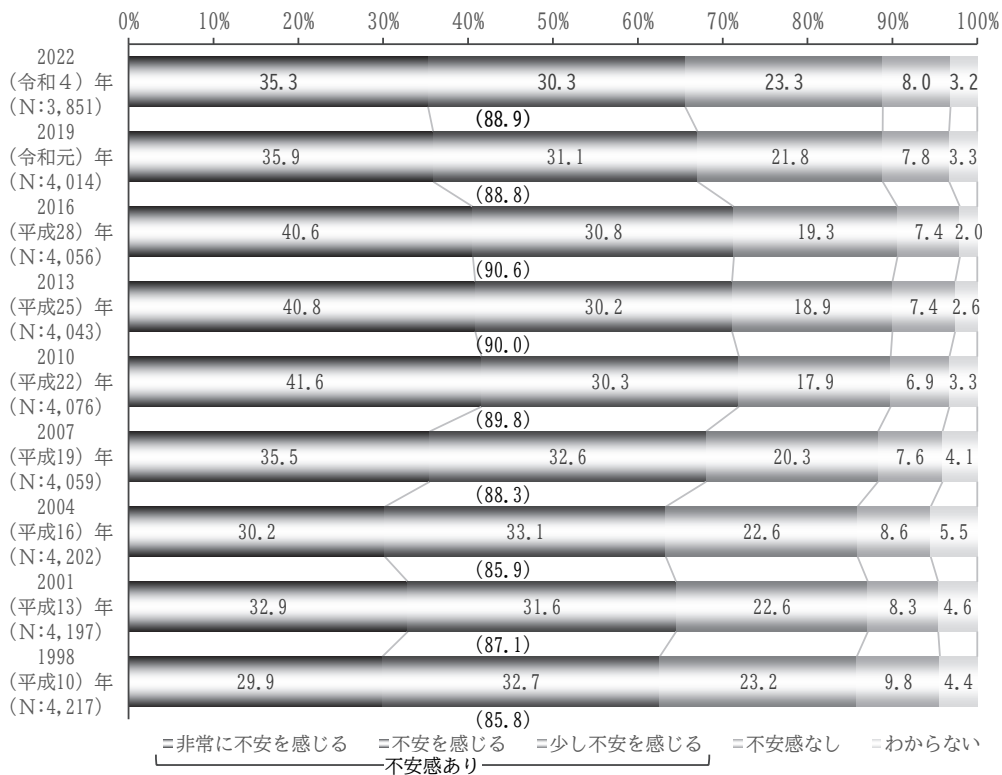
あなたは、仮にご自身が将来介護される状態になった場合を考えると、どの程度不安を感じますか。  
 (ア) 非常に不安を感じる  
 (イ) 不安を感じる  
 (ウ) 少し不安を感じる  
 (エ) 不安を感じない……………以下「不安感なし」  
 わからない

その結果、「不安感あり」（上記の選択肢で（ア）～（ウ）のいずれかに回答した人の合計）は88.6%、「不安感なし」は8.4%となっている。（図表V-1）

<図表 V-1> 自分の介護に対する不安の有無



【参考】前回と比較しても、大きな差異はみられない。



性別にみると、「不安感あり」は女性（90.8%）が男性（85.9%）を 4.9 ポイント上回っており、なかでも“非常に不安を感じる”で高くなっている。

性・年齢別にみると、「不安感あり」は男女とも 40～50 歳代で高くなっている。（図表 V-2）

<図表 V-2> 自分の介護に対する不安の有無〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N	不安の有無					わからない
		非常に不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	不安感あり	不安感なし	
男 性	2,141	29.3	30.3	26.2	85.9	10.4	3.7
20歳代	235	25.1	26.4	25.5	77.0▲	14.5	8.5
30歳代	275	32.7	29.8	24.0	86.5	9.5	4.0
40歳代	375	35.2	33.3	21.1▲	89.6	7.5▲	2.9
50歳代	358	33.0	29.6	27.1	89.7	7.5	2.8
60歳代	422	25.6	31.3	28.7	85.5	12.1	2.4
70歳代	447	24.8▲	30.2	30.0	85.0	12.3	2.7
女 性	2,703	38.2	30.1	22.5	90.8	6.8	2.4
20歳代	210	30.0▲	26.2	22.4	78.6▲	14.8	6.7
30歳代	366	36.9	33.3	19.1	89.3	7.9	2.7
40歳代	534	44.0	30.5	19.7	94.2	3.0▲	2.8
50歳代	508	43.7	30.3	20.5	94.5	4.7	0.8▲
60歳代	505	36.0	29.5	25.7	91.3	7.1	1.6
70歳代	546	34.8	29.7	25.3	89.7	8.2	2.0

## (2) 自分の介護に対する不安の内容

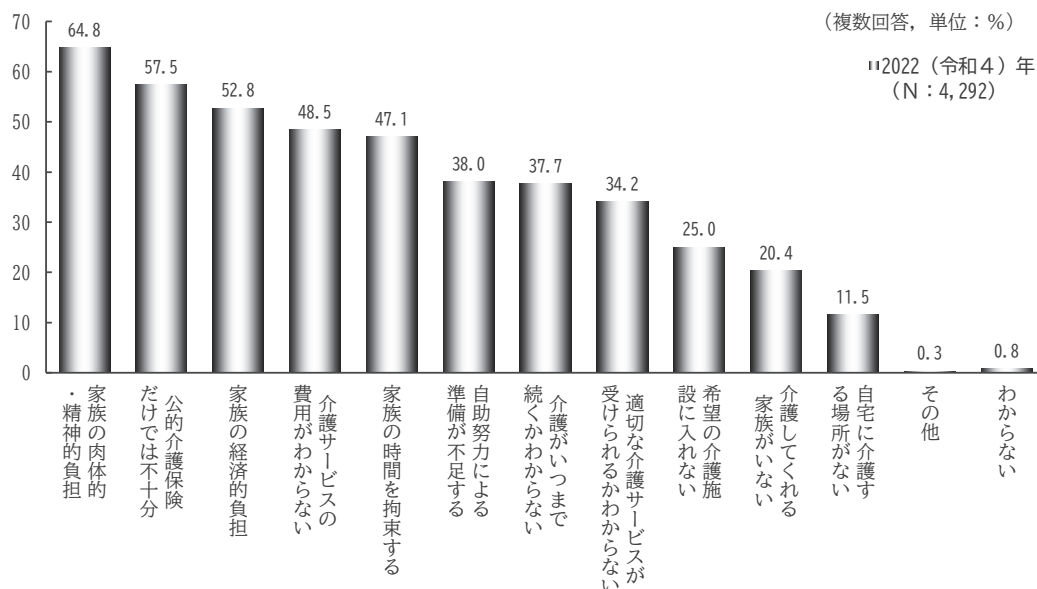
次に、不安意識がある人の具体的な不安の内容を捉えるため、以下のように尋ねた。

具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。

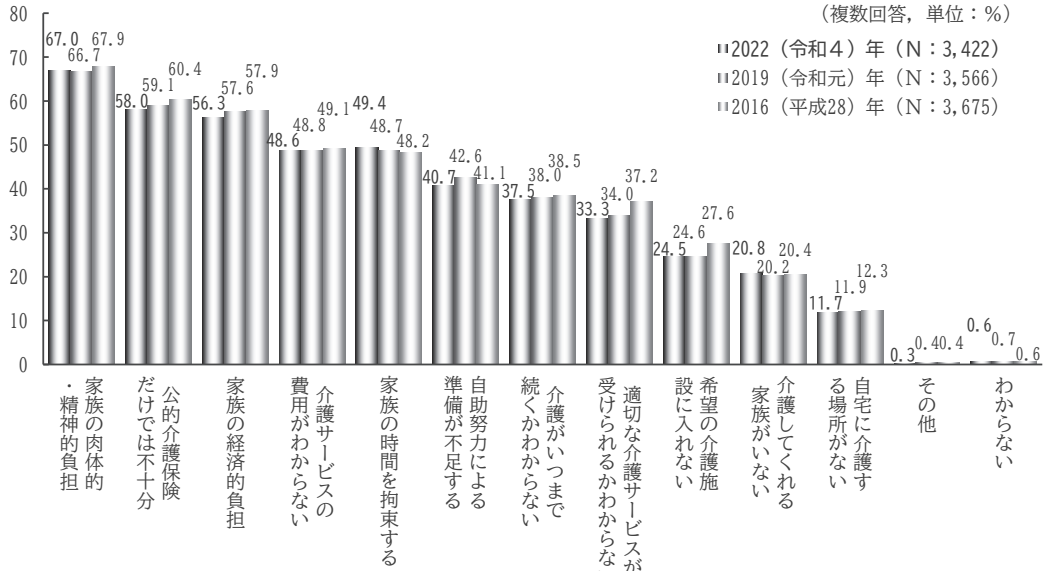
- (ア) 公的介護保険だけでは不十分なこと ……以下「公的介護保険だけでは不十分」
- (イ) 自助努力による経済的準備が不足すること ……以下「自助努力による準備が不足する」
- (ウ) 受けようとする介護サービスの費用がいくらかかるのかわからないこと  
……………以下「介護サービスの費用がわからない」
- (エ) 介護してくれる家族がいないこと ……以下「介護してくれる家族がいない」
- (オ) 家族に肉体的・精神的な負担をかけること ……以下「家族の肉体的・精神的負担」
- (カ) 家族に経済的な負担をかけること ……以下「家族の経済的負担」
- (キ) 家族の時間を拘束すること ……以下「家族の時間を拘束する」
- (ク) 自宅に介護をする場所がないこと ……以下「自宅に介護する場所がない」
- (ケ) 希望する介護施設に入れないこと ……以下「希望の介護施設に入れない」
- (コ) 適切な介護サービスが受けられるかどうかかわからないこと  
……………以下「適切な介護サービスが受けられるかわからない」
- (サ) 介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てにくいこと  
……………以下「介護がいつまで続くかわからない」
- (シ) その他  
わからない

その結果、「家族の肉体的・精神的負担」が 64.8%と最も高く、以下「公的介護保険だけでは不十分」(57.5%)、「家族の経済的負担」(52.8%)、「介護サービスの費用がわからない」(48.5%) の順となっている。(図表V-3)

<図表 V-3> 自分の介護に対する不安の内容



【参考】前回と比較しても、大きな差異はみられない。



\*前回以前と時系列比較をするために、前回までと同様に対象年齢を18～69歳として再集計した。

性別にみると、「家族の肉体的・精神的負担」、「公的介護保険だけでは不十分」など7項目で、男性より女性の方が高く、特に「介護がいつまで続くかわからない」では女性が41.3%と男性(32.8%)を8.5ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「公的介護保険だけでは不十分」は男性50～60歳代、女性50歳代で、「家族の経済的負担」は男性30～40歳代、女性20～40歳代で、それぞれ高くなっている。また、「自助努力による準備が不足する」は男性40～50歳代、女性30～50歳代で高くなっている。(図表V-4)

<図表 V-4> 自分の介護に対する不安の内容〔性・年齢別〕

	N	(複数回答、単位：％)												
		家族の肉体的・精神的負担	公的介護保険だけでは不十分	家族の経済的負担	介護サービスの費用がわからない	介護の時間を拘束する	自助努力による準備が不足する	介護がいつまで続くかわからない	適切な介護サービスが受けられないかわからない	希望の介護施設に入れない	介護してくれる家族がいない	自宅に介護する場所がない	その他	わからない
男性	1,839	61.9	55.2	49.5	47.4	43.3	36.7	32.8	31.4	20.8	20.3	11.1	0.3	0.7
20歳代	181	65.7	40.3▲	55.2	43.6	53.6	33.1	24.9▲	18.8▲	14.4▲	20.4	11.6	0.0	1.7
30歳代	238	72.7	47.5▲	61.8	51.3	54.2	39.5	31.9	30.7	19.3	27.3	11.8	0.0	0.8
40歳代	336	66.1	56.0	56.0	47.9	44.0	46.1	30.4	27.4	16.1▲	16.7	9.8	0.0	0.3
50歳代	321	63.2	65.4	52.3	49.8	43.6	44.9	37.4	37.4	27.7	26.2	12.1	0.0	0.3
60歳代	361	54.6▲	60.9	40.4▲	45.4	39.3	34.1	35.7	34.3	23.8	19.7	11.6	1.1	0.8
70歳代	380	54.2▲	53.9	38.9▲	46.1	33.2▲	25.0▲	33.7	34.5	20.8	15.0▲	10.5	0.5	0.8
女性	2,453	67.0	59.2	55.2	49.3	49.9	39.1	41.3	36.2	28.2	20.5	11.8	0.3	0.9
20歳代	165	63.6	46.1▲	63.0	49.7	52.1	41.8	32.1▲	26.7▲	16.4▲	17.0	10.9	0.0	0.6
30歳代	327	74.6	59.6	70.0	53.5	54.1	44.0	43.1	34.6	23.2▲	17.7	10.4	0.0	0.3
40歳代	503	72.2	61.4	66.6	52.5	55.3	44.1	41.7	36.2	24.7▲	19.1	12.3	0.2	0.2
50歳代	480	70.2	64.8	57.7	45.2▲	53.3	44.0	41.5	35.8	32.7	25.2	11.5	0.2	0.6
60歳代	461	64.6	59.4	44.7▲	46.9	46.0	35.1	43.2	38.2	31.9	19.3	13.7	0.7	0.9
70歳代	490	57.8▲	56.7	38.6▲	49.2	41.6▲	29.4▲	41.8	40.0	32.0	22.0	11.0	0.6	1.8

### (3) 親などを介護する場合の不安の有無

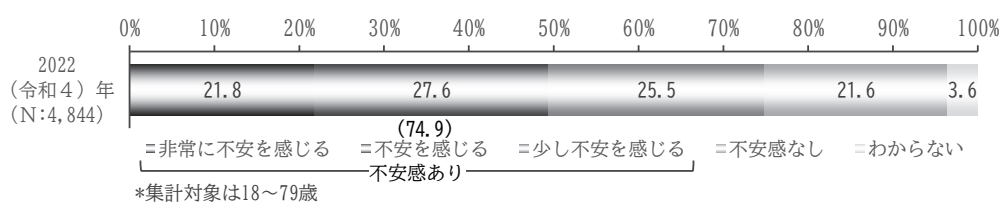
ここでは、将来親や親族などを介護する立場になった場合の不安の有無と程度を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、将来ご自身が、親や親族などを介護する立場になった場合の生活について、どの程度不安を感じますか。

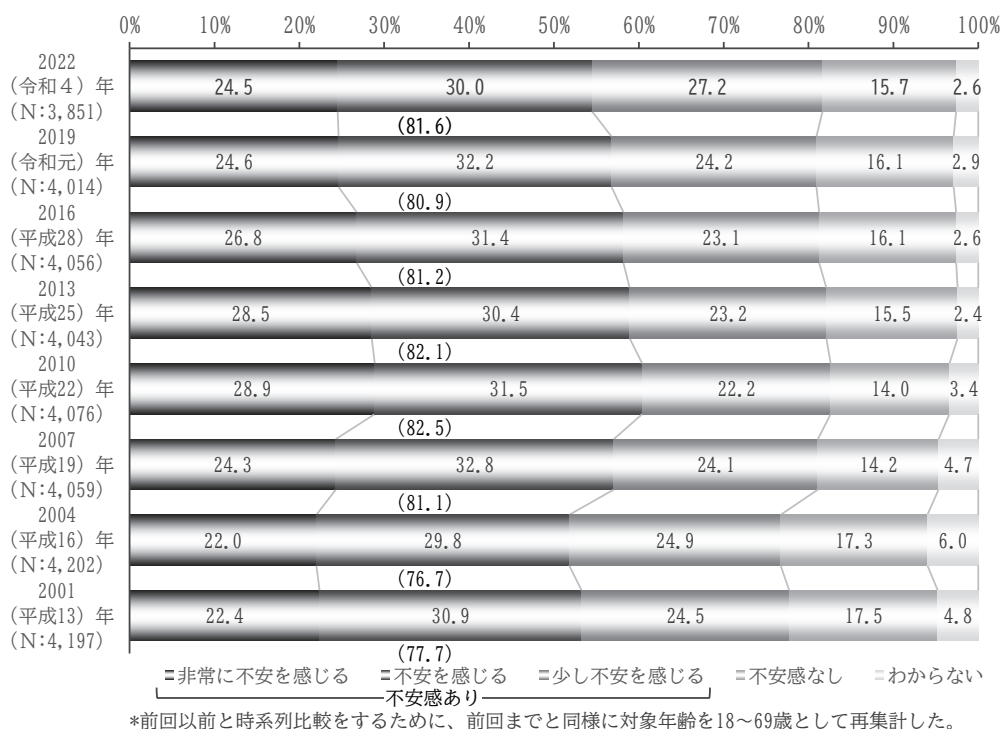
(ア) 非常に不安を感じる  
 (イ) 不安を感じる  
 (ウ) 少し不安を感じる  
 (エ) 不安を感じない……………以下「不安感なし」  
 わからない

その結果、「不安感あり」（上記の選択肢で（ア）～（ウ）のいずれかに回答した人の合計）は74.9%となっており、「自分の介護に対し、『不安感あり』（168 ページ）と答えた割合（88.6%）を13.7ポイント下回っている。（図表V-5）

<図表 V-5> 親などを介護する場合の不安の有無



【参考】前回と比較すると、「不安を感じる」が2.2ポイント減少し、「少し不安を感じる」が3.0ポイント増加している。



性別にみると、「不安感あり」は女性（76.7%）が男性（72.5%）を 4.2 ポイント上回っており、なかでも“非常に不安を感じる”で高くなっている。

性・年齢別にみると、「不安感あり」は男女とも 20～50 歳代で高くなっている。（図表 V-6）

<図表 V-6> 親などを介護する場合の不安の有無〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N	不安の有無					わからない
		非常に不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	不安感あり	不安感なし	
男 性	2,141	18.8	26.9	26.8	72.5	23.1	4.4
20歳代	235	25.1	34.0	26.0	85.1	10.2▲	4.7
30歳代	275	20.0	32.0	34.2	86.2	10.5▲	3.3
40歳代	375	26.1	35.5	27.2	88.8	8.5▲	2.7
50歳代	358	23.5	31.3	24.3	79.1	17.0▲	3.9
60歳代	422	11.8▲	22.0▲	27.7	61.6▲	34.6	3.8
70歳代	447	10.7▲	14.8▲	23.5	49.0▲	44.1	6.9
女 性	2,703	24.3	28.1	24.4	76.7	20.3	3.0
20歳代	210	27.6	29.0	29.0	85.7	12.9▲	1.4
30歳代	366	25.7	36.3	29.2	91.3	7.1▲	1.6
40歳代	534	33.0	32.6	27.7	93.3	5.4▲	1.3▲
50歳代	508	29.7	31.1	25.6	86.4	12.4▲	1.2▲
60歳代	505	20.4▲	20.6▲	24.2	65.1▲	32.1	2.8
70歳代	546	12.1▲	21.1▲	15.0▲	48.2▲	44.1	7.7

#### (4) 親などを介護する場合の不安の内容

次に、不安意識がある人の具体的な不安の内容を捉えるため、以下のように尋ねた。

具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。

(ア) 公的介護保険だけでは不十分なこと ……以下「公的介護保険だけでは不十分」

(イ) 利用しようとする介護サービスの費用がいくらかかるかわからないこと  
 ……以下「介護サービスの費用がわからない」

(ウ) 介護のための人手が不足すること ……以下「介護の人手が不足する」

(エ) 自分に肉体的・精神的な負担がかかること ……以下「自分の肉体的・精神的負担」

(オ) 自分に経済的な負担がかかること ……以下「自分の経済的負担」

(カ) 自分の時間が拘束されること ……以下「自分の時間が拘束される」

(キ) 自宅に介護をする場所がないこと ……以下「自宅に介護する場所がない」

(ク) 希望する介護施設に入れることができないこと ……以下「希望の介護施設に入れられない」

(ケ) 適切な介護サービスを利用できるかわからないこと  
 ……以下「適切な介護サービスを利用できるかわからない」

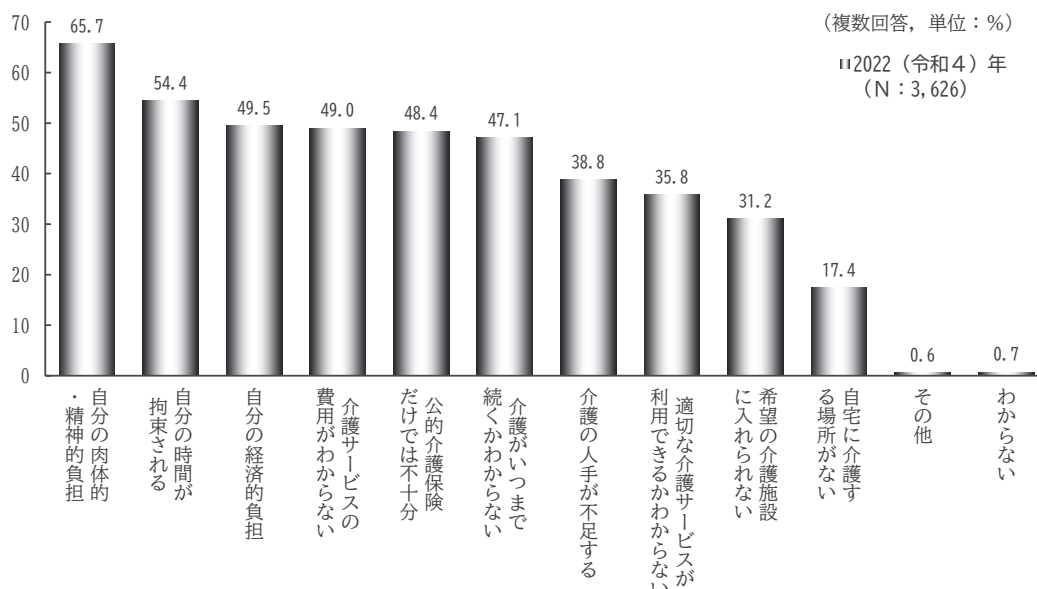
(コ) 介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てにくいこと  
 ……以下「介護がいつまで続くかわからない」

(サ) その他  
 わからない

その結果、「自分の肉体的・精神的負担」が 65.7%と最も高く、以下「自分の時間が拘束される」(54.4%)、「自分の経済的負担」(49.5%)、「介護サービスの費用がわからない」(49.0%)の順となっている。

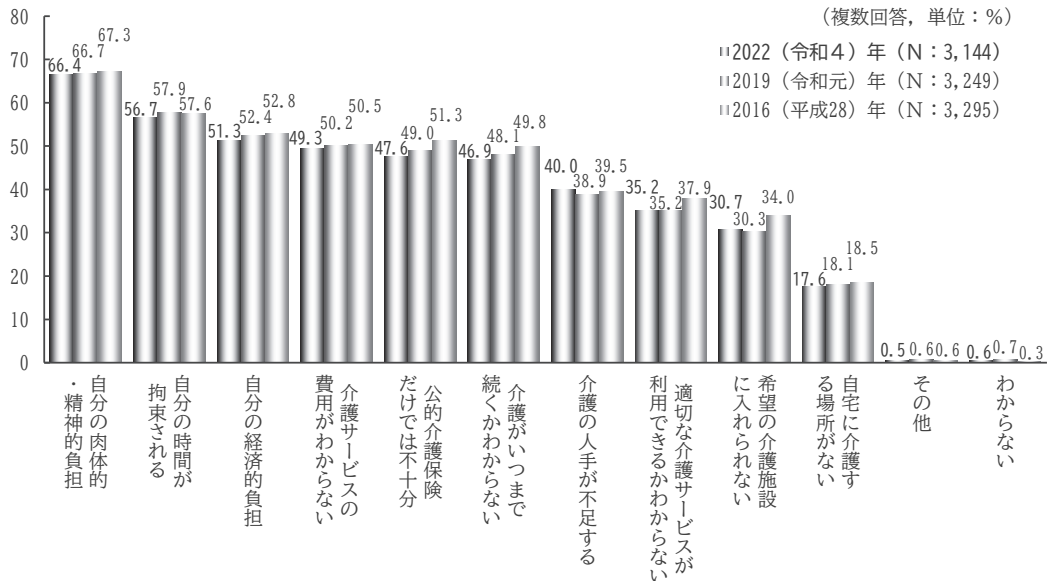
また、「自分の介護に対する不安の内容」(170 ページ)と比べると、「介護の人手が不足する(介護してくれる家族がない)」、「介護がいつまで続くかわからない」、「自分の時間が拘束される(家族の時間を拘束する)」が特に高く、介護の担い手や時間的要素の不安意識が高くなる傾向がみられる。逆に「公的介護保険だけでは不十分」、「自分の経済的負担(家族の経済的負担)」では不安意識が低くなっている。(図表V-7)

<図表 V-7> 親などを介護する場合の不安の内容



\*集計対象は18~79歳

【参考】前回と比較しても、大きな差異はみられない。



\*前回以前と時系列比較をするために、前回までと同様に対象年齢を18～69歳として再集計した。

性別にみると、「自分の肉体的・精神的負担」、「自分の時間が拘束される」、「介護がいつまで続くかわからない」等5項目で、女性が男性を上回っている。また「介護サービスの費用がわからない」で男性が高くなっている。

性・年齢別にみると、男性30歳代、女性40～50歳代で「自分の時間が拘束される」が高く、男性40～50歳代では「自分の経済的負担」も高い。一方、女性では30歳代で「介護サービスの費用がわからない」が高くなっている。(図表V-8)

<図表 V-8> 親などを介護する場合の不安の内容

	N	自分の肉体的・精神的負担	自分の時間が拘束される	自分の経済的負担	介護サービスの費用がわからない	公的介護保険だけでは不十分	介護がいつまで続くかわからない	介護の人手が不足する	適切な介護サービスが利用できるかわからない	希望の介護施設に入れない	自宅に介護する場所がない	その他	わからない
男性	1,552	61.9	52.2	49.5	51.2	48.5	40.5	39.6	33.9	28.6	17.8	0.7	1.0
20歳代	200	61.0	54.5	50.5	53.5	41.5▲	37.5	35.0	29.0	21.0▲	15.0	0.5	1.5
30歳代	237	65.4	60.3	52.3	52.3	35.4▲	43.5	46.4	32.1	27.4	21.9	0.4	0.8
40歳代	333	63.1	55.9	55.9	54.7	52.0	38.1	42.0	30.3	28.2	18.0	1.2	0.3
50歳代	283	67.1	56.5	58.0	53.4	55.8	45.2	47.0	38.9	36.0	19.1	0.4	0.7
60歳代	260	58.8	49.6	43.5▲	48.1	49.2	41.2	35.8	34.2	29.2	15.4	0.8	0.8
70歳代	219	53.4▲	32.9▲	32.0▲	44.3▲	55.3	38.4	28.3▲	37.9	27.4	15.5	0.9	2.3
女性	2,074	68.7	56.1	49.4	47.3	48.4	52.0	38.2	37.3	33.1	17.1	0.4	0.5
20歳代	180	61.1▲	49.4	52.2	49.4	41.1▲	44.4▲	35.6	28.9▲	17.2▲	16.1	0.0	1.1
30歳代	334	68.3	59.3	54.2	53.9	44.6	50.0	39.5	34.1	29.3	16.2	1.2	0.0
40歳代	498	70.3	60.4	51.8	48.4	49.8	54.0	39.2	41.4	34.5	18.5	0.2	0.2
50歳代	439	72.2	62.6	52.6	45.8	50.1	52.8	44.0	39.2	36.4	15.3	0.5	0.2
60歳代	329	67.5	51.7	41.3▲	38.9▲	50.2	52.3	34.0	34.3	33.7	18.8	0.3	0.0
70歳代	263	68.1	45.2▲	41.8▲	49.0	53.2	56.3	33.1	41.4	39.5	17.5	0.4	1.1



## 2. 自分の介護に対する意識

ここでは、自分自身が要介護状態になった場合に、在宅介護と施設介護のどちらを望んでいるのか、また、その選択理由について捉えている。

### (1) 自分が介護してもらいたい場所

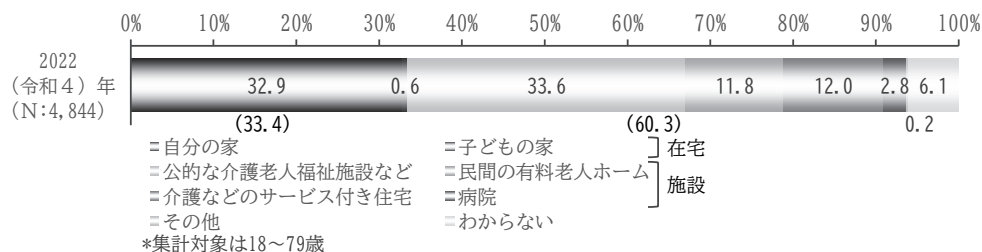
将来自分自身が要介護状態になった場合に、どのような場所で介護してもらいたいと考えているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、仮にご自身が将来介護を受ける状態になった場合に、どのような場所で介護をしてもらいたいとお考えでしょうか。この中から1つだけお答えください。

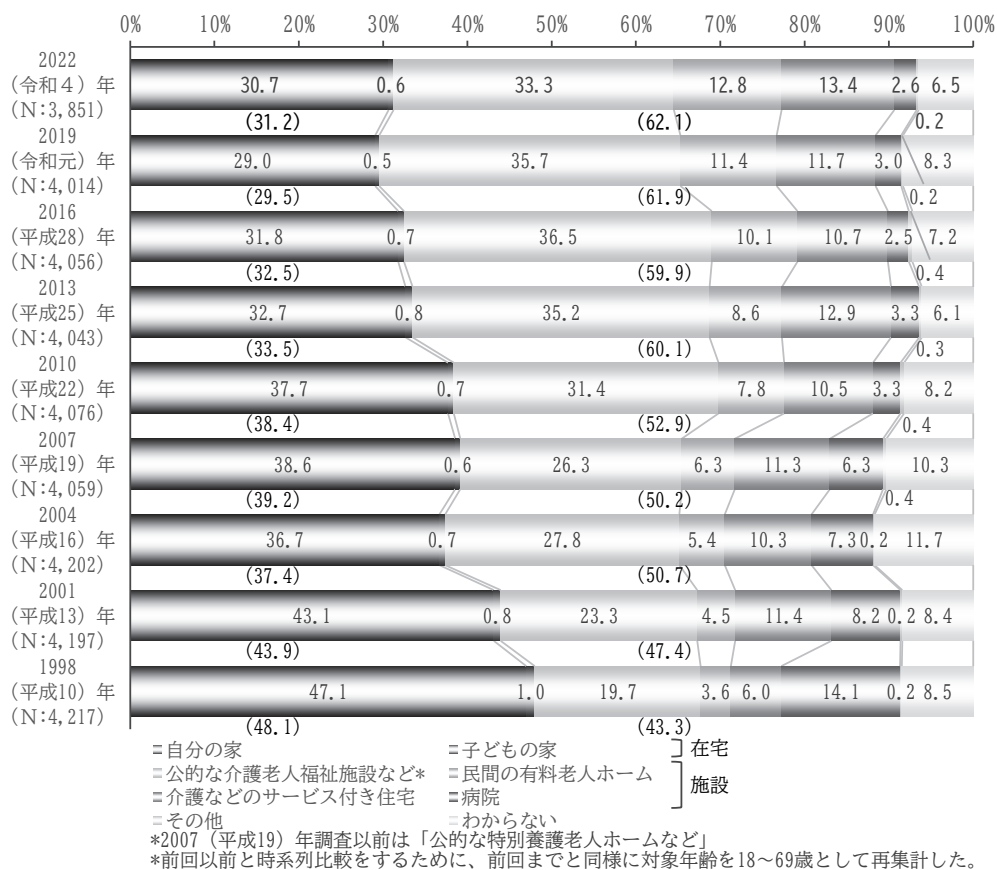
- (ア) 自分の家
- (イ) 子どもの家
- (ウ) 国や県などの公的な介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設など  
.....以下「公的な介護老人福祉施設など」
- (エ) 民間の有料老人ホーム
- (オ) 介護などのサービス付き住宅（シルバーマンションなど）
- (カ) 病院
- (キ) その他  
わからない

その結果、「公的な介護老人福祉施設など」が 33.6%と最も高く、次いで「自分の家」(32.9%)、「介護などのサービス付き住宅」(12.0%) となっている。また、「在宅」は 33.4%、「施設」は 60.3% となっている。(図表V-9)

<図表 V-9> 自分が介護してもらいたい場所



【参考】前回と比較すると、「公的な介護老人福祉施設など」が2.4ポイント減少している。



性別にみると、「在宅」は男性の方が高く、「施設」は女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「自分の家」は70歳代で、「公的な介護老人福祉施設など」は50歳代で、「民間の有料老人ホーム」は20～30歳代で、「介護などのサービス付き住宅」は30～50歳代で、それぞれ高くなっている。（図表V-10）

<図表 V-10> 自分が介護してもらいたい場所〔性別、年齢別〕

	N	在宅		施設				その他	わからない			
		自分の家	子どもの家	公的な介護老人福祉施設など	民間の有料老人ホーム	介護などのサービス付き住宅	病院					
全体	4,844	32.9	0.6	33.4	33.6	11.8	12.0	2.8	60.3	0.2	6.1	
性別	男性	2,141	37.4	0.5	37.8	31.2▲	13.1	7.6▲	3.1	55.1▲	0.2	6.9
	女性	2,703	29.3▲	0.7	30.0▲	35.4	10.8▲	15.5	2.6	64.4	0.3	5.4▲
年齢	20歳代	445	29.2	1.1	30.3	25.8▲	20.0	12.4	3.4	61.6	0.0	8.1
	30歳代	641	29.2▲	0.3	29.5▲	30.6	15.3	15.4	1.7	63.0	0.2	7.3
	40歳代	909	32.0	0.7	32.7	32.9	11.2	14.1	2.8	60.9	0.3	6.1
	50歳代	866	29.8▲	0.6	30.4▲	37.0	9.7▲	14.4	2.0	63.0	0.3	6.2
	60歳代	927	31.8	0.4	32.3	36.0	12.3	11.0	3.6	62.9	0.2	4.6▲
	70歳代	993	41.4	0.6	42.0	34.8	8.2▲	6.8▲	3.4	53.3▲	0.2	4.5▲

本人職業別にみると、「在宅」は自営者で、「施設」は非正規社員で、それぞれ高くなっている。  
 金融資産別にみると、「施設」は2,000万円以上の層で高くなっており、「介護などのサービス付き住宅」や「民間の有料老人ホーム」が高くなっている。

住居種類別にみると、「在宅」は持家・ローンなしで、「施設」は賃貸住宅で高くなっている。(図表V-11)

<図表 V-11> 自分が介護してもらいたい場所〔本人職業別、金融資産別、住居種類別、市郡規模別〕

	N	在宅			施設					その他	わからない	
		自分の家	子どもの家		社公 施施 設設 なな 介介 護護 老老 人 福	民 間 の 有 料 老 人 ホ ー ム	ス 介 護 な ど の サ ー ビ ス 付 き 住 宅	病 院				
全 体	4,844	32.9	0.6	33.4	33.6	11.8	12.0	2.8	60.3	0.2	6.1	
本人職業	自 営 者	506	38.9	0.6	39.5	29.2▲	12.8	10.1	3.2	55.3▲	0.2	4.9
	農 林 漁 業	77	44.2	0.0	44.2	35.1	11.7	3.9▲	1.3	51.9	0.0	3.9
	商工サービス業	373	38.6	0.5	39.1	29.5	13.1	10.2	3.2	56.0	0.3	4.6
	常 雇 被 用 者	1,724	31.8	0.5	32.4	32.7	13.2	13.2	2.6	61.6	0.3	5.7
	公 務 員	164	25.6▲	1.2	26.8	29.3	16.5	18.9	1.2	65.9	0.0	7.3
	民間企業被用者	1,560	32.5	0.4	32.9	33.0	12.8	12.6	2.7	61.2	0.3	5.6
	小企業被用者	324	32.4	0.6	33.0	35.5	11.7	11.4	2.5	61.1	0.0	5.9
	中企業被用者	733	33.0	0.4	33.4	32.7	12.4	11.9	3.4	60.4	0.3	5.9
	大企業被用者	461	31.0	0.4	31.5	31.9	14.1	15.4	2.0	63.3	0.2	5.0
	非 正 規 社 員 無 職	894 1,522	29.5▲ 34.6	1.1 0.3	30.6▲ 34.9	36.6	10.2	15.4	1.9	64.1	0.1	5.1
金融資産	100万円未満	456	30.9	1.8	32.7	39.7	8.8▲	8.8▲	3.9	61.2	0.9	5.3
	100～500万円未満	741	32.7	0.3	32.9	36.7	13.5	10.8	2.4	63.4	0.0	3.6▲
	500～1,000万円未満	397	35.0	0.8	35.8	33.5	10.6	13.4	3.3	60.7	0.8	2.8▲
	1,000～2,000万円未満	291	32.6	0.0	32.6	32.0	14.4	15.8	3.4	65.6	0.0	1.7▲
	2,000万円以上	388	28.6	0.3	28.9▲	29.1	18.8	17.3	2.6	67.8	0.3	3.1▲
住居種類	持 家	3,867	34.7	0.5	35.1	32.6▲	11.9	12.1	2.7	59.2▲	0.2	5.4▲
	持家・ローンあり	1,575	34.2	0.6	34.9	31.7	12.2	13.0	2.2	59.0	0.3	5.9
	持家・ローンなし	1,641	37.1	0.2▲	37.3	34.4	10.2▲	11.0	3.0	58.6	0.2	4.0▲
	持家・夫婦以外名義	651	29.6	0.8	30.4	30.1▲	15.5	13.1	2.9	61.6	0.2	7.8
	借 家	924	25.3▲	1.0	26.3▲	38.7	11.8	11.6	3.2	65.4	0.3	8.0
	賃 貸 住 宅 社 宅	891 33	25.4▲ 24.2	1.0 0.0	26.4▲ 24.2	38.8	11.8	11.2	3.4	65.2	0.3	8.1
市郡規模	大 都 市	1,441	31.7	0.5	32.2	32.2	12.8	14.9	2.2	62.2	0.4	5.2
	中 都 市	1,962	33.1	0.6	33.7	33.9	11.5	11.3	3.1	59.8	0.1	6.4
	小 都 市	1,027	34.9	0.8	35.6	34.5	10.5	10.2▲	3.0	58.2	0.2	5.9
	郡 部	414	30.7	0.2	30.9	34.5	13.3	10.1	2.9	60.9	0.2	8.0

### 3. 公的介護保険に対する意識

本節では、公的介護保険制度に対する評価などを捉え、人々の意識を明らかにしている。

#### (1) 公的介護保険に対する考え方

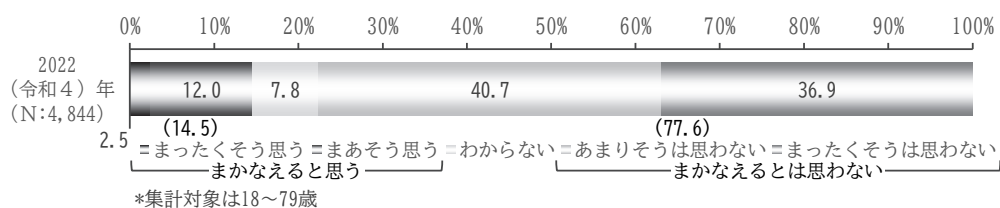
自分が将来要介護状態になった場合に、介護費用が公的介護保険でまかなえると考えているのかどうかを捉えるため、以下のように尋ねた。

自分が将来寝たきりや認知症になった場合の費用は、公的介護保険で大部分まかなえる

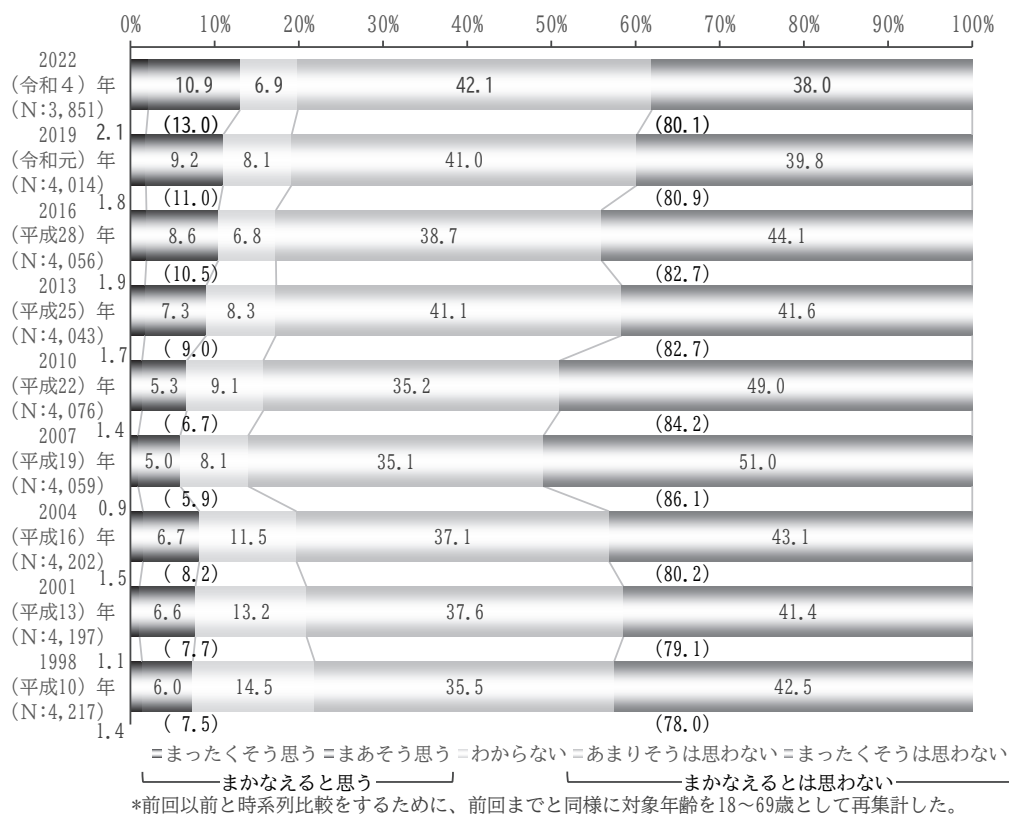
(ア) まったくそう思う  
 (イ) まあそう思う  
 (ウ) あまりそうは思わない  
 (エ) まったくそうは思わない  
 わからない

その結果、「まかなえると思う」（「まったくそう思う」と「まあそう思う」と回答した人の合計）は 14.5%、「まかなえるとは思わない」（「あまりそうは思わない」と「まったくそうは思わない」と回答した人の合計）は 77.6% となっており、7 割以上の人々が公的介護保険だけではまかなえないと考えている。（図表 V-12）

<図表 V-12> 公的介護保険に対する考え方



【参考】前回と比較すると、「まかなえると思う」が 2.0 ポイント増加している。



性別にみると、「まかなえるとは思わない」は女性（79.6%）が男性（75.2%）を4.4ポイント上回り、「まかなえると思う」は男性（17.0%）が女性（12.5%）を4.5ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「まかなえるとは思わない」は男性40～50歳代、女性40～60歳代で高くなっている。（図表V-13）

<図表 V-13> 公的介護保険に対する考え方〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N	まったく そう思う	まあ そう思う	まかなえる と思う	わからない	まかなえる とは思 わない	あまり そうは 思わない	まったく そうは 思わない
男 性	2,141	3.2	13.8	17.0	7.8	75.2	41.4	33.7
20歳代	235	5.1	15.7	20.9	9.8	69.4▲	44.7	24.7▲
30歳代	275	3.3	13.5	16.7	7.3	76.0	39.6	36.4
40歳代	375	2.1	8.3▲	10.4▲	5.3▲	84.3	41.9	42.4
50歳代	358	1.7	10.6	12.3▲	4.5▲	83.2	41.9	41.3
60歳代	422	3.3	14.7	18.0	8.3	73.7	43.4	30.3
70歳代	447	4.3	19.0	23.3	11.2	65.5▲	38.3	27.3▲
女 性	2,703	1.9	10.6	12.5	7.9	79.6	40.1	39.4
20歳代	210	0.5	15.7	16.2	13.3	70.5▲	46.7	23.8▲
30歳代	366	1.4	9.6	10.9	8.5	80.6	44.0	36.6
40歳代	534	0.7▲	7.1▲	7.9▲	6.7	85.4	41.8	43.6
50歳代	508	1.6	9.8	11.4	3.9▲	84.6	40.7	43.9
60歳代	505	2.6	8.5	11.1	5.3▲	83.6	40.6	43.0
70歳代	546	3.8	14.1	17.9	12.1	70.0▲	33.2▲	36.8

(2) 介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か

自分自身が要介護状態になった場合の準備は、公的保障の充実を志向しているのか、自助努力を志向しているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

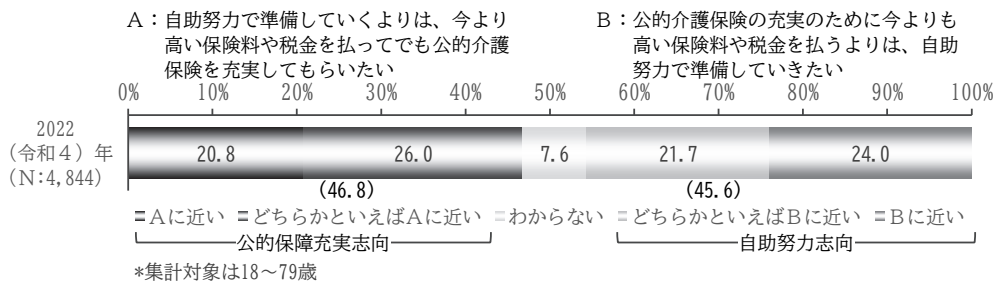
ここに、自分が寝たきりや認知症になり、介護が必要になったときの備えについて、A、B 2つの考え方があげられています。あなたのお考えは、A、B どちらの考え方に近いでしょうか。

A：自助努力で準備していくよりは、今より高い保険料や税金を払ってでも公的介護保険を充実してもらいたい  
 B：公的介護保険の充実のために今よりも高い保険料や税金を払うよりは、自助努力で準備していきたい

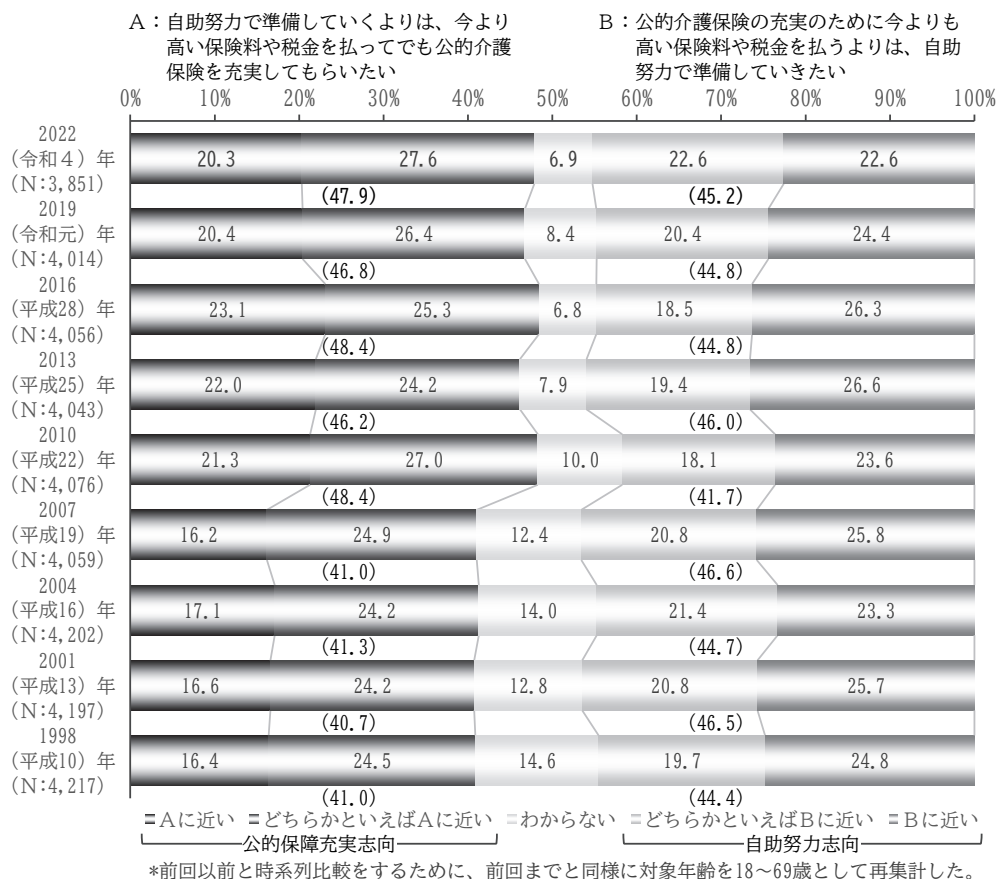
- (ア) Aに近い
- (イ) どちらかといえばAに近い
- (ウ) どちらかといえばBに近い
- (エ) Bに近い
- わからない

その結果、「公的保障充実志向」（“Aに近い”と“どちらかといえばAに近い”と回答した人の合計）は46.8%、「自助努力志向」（“どちらかといえばBに近い”と“Bに近い”と回答した人の合計）は45.6%と拮抗している。（図表V-14）

<図表 V-14> 介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か



【参考】前回と比較しても、大きな差異はみられない。



性・年齢別にみると、「公的保障充実志向」は女性40歳代で、「自助努力志向」は男性30歳代で高くなっている。(図表V-15)

<図表 V-15> 介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N	Aに近い		公的保障 充実志向	わからない	自助努力 志向	Bに近い	
		Aに近い	どちらか といえば Aに近い				どちらか といえば Bに近い	Bに近い
男 性	2,141	21.9	25.4	47.3	6.8	46.0	21.7	24.2
20歳代	235	18.3	32.8	51.1	7.2	41.7	25.1	16.6▲
30歳代	275	16.7▲	27.6	44.4	4.0	51.6	26.9	24.7
40歳代	375	22.7	23.7	46.4	6.1	47.5	23.7	23.7
50歳代	358	22.6	28.2	50.8	5.6	43.6	20.9	22.6
60歳代	422	25.6	21.8	47.4	6.6	46.0	17.8▲	28.2
70歳代	447	22.6	21.3▲	43.8	9.6	46.5	19.5	27.1
女 性	2,703	19.9	26.5	46.4	8.2	45.4	21.6	23.8
20歳代	210	19.0	30.5	49.5	10.0	40.5	22.4	18.1▲
30歳代	366	13.9▲	30.9	44.8	6.6	48.6	24.9	23.8
40歳代	534	19.9	31.6	51.5	6.9	41.6▲	24.2	17.4▲
50歳代	508	20.7	27.2	47.8	6.1	46.1	23.2	22.8
60歳代	505	20.8	23.6	44.4	8.9	46.7	20.6	26.1
70歳代	546	22.5	18.9▲	41.4▲	10.8	47.8	16.5▲	31.3

#### 4. 介護保障に対する私的準備状況

自分自身が要介護状態になった場合に備えて、どのような手段で経済的な準備をしているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたのご家庭では、あなたご自身が介護を受ける状態になった場合に備えて、現在経済的な準備をしていますか。この中に準備しているものがあれば、いくつでもお答えください。

- (ア) 民間の生命保険会社や郵便局、JA（農協）などで取り扱っている介護関係の特約や介護関係の生命保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）……………以下「生命保険」
- (イ) 介護費用保険などの損害保険……………以下「損害保険」
- (ウ) 預貯金
- (エ) 株式・債券などの有価証券……………以下「有価証券」
- (オ) その他
- (カ) 特別な準備はしていない……………以下「準備していない」  
わからない

その結果、「準備している」（上記の選択肢で（ア）～（オ）のいずれかに回答した人）は 53.5%、「準備していない」は 43.0%と拮抗している。他の保障領域の「準備している」[医療保障（82.7%）、老後保障（66.5%）、死亡保障（73.1%）]と比較すると、準備割合は低く、最も準備が進んでいない保障領域といえる。

具体的な準備手段をみると、「預貯金」が 40.6%と最も高く、次いで「生命保険」（28.0%）となっている。（図表V-16）

<図表 V-16> 介護保障に対する私的準備状況

(複数回答, 単位: %)

	N	生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他	準備している	準備していない	わからない
2022 (令和4)年	4,844	28.0	8.7	40.6	7.1	0.2	53.5	43.0	3.4

\*集計対象は18～79歳

【参考】前回と比較すると、「準備している」が 2.3 ポイント増加している。

(複数回答, 単位: %)

	N	生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他	準備している	準備していない	わからない
2022 (令和4)年	3,851	28.2	8.6	37.1	6.9	0.2	51.0	45.5	3.5
2019 (令和元)年	4,014	28.9	7.0	34.3	4.5	0.4	48.7	47.9	3.4
2016 (平成28)年	4,056	27.0	6.5	35.2	4.4	0.5	47.8	49.2	3.1
2013 (平成25)年	4,043	22.7	5.4	30.2	3.9	0.4	42.1	55.4	2.5
2010 (平成22)年	4,076	21.4	4.6	30.8	3.9	0.4	41.0	55.3	3.6
2007 (平成19)年	4,059	23.7	5.0	29.5	4.1	0.2	41.2	55.9	2.9
2004 (平成16)年	4,202	22.6	5.1	28.1	3.0	0.9	39.2	56.3	4.5
2001 (平成13)年	4,197	24.2	5.4	29.9	3.8	0.4	40.8	54.9	4.3
1998 (平成10)年	4,217	26.5	4.2	31.3	3.1	0.5	42.9	53.6	3.5
1996 (平成8)年	4,388	21.6	3.3	27.4	2.7	0.4	40.7	56.7	2.7

\*前回以前と時系列比較をするために、前回までと同様に対象年齢を18～69歳として再集計した。



性・年齢別にみると、「準備している」は男女とも概ね高年齢層ほど高くなっている。また、具体的な準備手段では、「生命保険」は男性50～60歳代、女性60歳代で高く、「損害保険」は男女とも50歳代で、「預貯金」、「有価証券」は男女とも概ね高年齢層ほど高くなっている。(図表V-17)

<図表 V-17> 介護保障に対する私的準備状況〔性・年齢別〕

(複数回答, 単位: %)

	N						準備して	準備して	わからない
		生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他	いる	いない	
男 性	2,141	27.9	9.6	40.3	10.2	0.2	53.1	42.9	4.0
20歳代	235	7.2▲	3.0▲	10.2▲	2.1▲	0.4	16.2▲	73.6	10.2
30歳代	275	24.7	5.8▲	33.1▲	12.0	0.0	47.6	48.0	4.4
40歳代	375	30.9	12.0	36.8	6.7▲	0.5	52.3	43.5	4.3
50歳代	358	35.5	14.0	46.4	12.0	0.0	64.8	33.0▲	2.2
60歳代	422	34.8	9.0	52.4	14.0	0.0	64.5	34.1▲	1.4▲
70歳代	447	27.3	11.0	49.7	12.1	0.2	59.5	37.1▲	3.4
女 性	2,703	28.0	8.0	40.8	4.6	0.2	53.9	43.2	3.0
20歳代	210	11.9▲	3.3▲	16.2▲	2.4	0.0	24.8▲	68.1	7.1
30歳代	366	22.7▲	6.3	27.0▲	3.3	0.0	39.3▲	57.7	3.0
40歳代	534	29.0	7.1	34.1▲	5.2	0.0	49.3▲	47.9	2.8
50歳代	508	31.5	12.6	36.6▲	4.3	0.2	56.1	42.1	1.8
60歳代	505	36.8	8.7	56.2	6.9	0.4	68.5	30.1▲	1.4▲
70歳代	546	27.3	7.3	57.7	4.2	0.5	66.7	30.2▲	3.1

性・本人職業別にみると、「準備している」は男性の商工サービス業、公務員、女性の商工サービス業、大企業被用者、無職で高くなっている。具体的な準備手段では、「生命保険」は男性の自営者、公務員、中企業被用者、女性の商工サービス業、大企業被用者で高くなっている。

性・本人年収別にみると、「準備している」は男女とも高年収層ほど高くなっている。(図表V-18)

<図表 V-18> 介護保障に対する私的準備状況〔性・年齢別〕

(複数回答, 単位: %)

	N						準備して	準備して	わからな	
		生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他	いる	いない	い	
男性	2,141	27.9	9.6	40.3	10.2	0.2	53.1	42.9	4.0	
本人職業	自営者	307	33.6	11.7	45.6	11.1	0.3	61.6	35.5▲	2.9
	農林漁業	50	34.0	10.0	42.0	6.0	0.0	58.0	40.0	2.0
	商工サービス業	225	31.6	11.6	46.7	12.0	0.4	59.6	37.3	3.1
	常雇被用者	1,051	31.0	10.7	40.5	10.6	0.2	55.1	41.8	3.1▲
	公務員	90	38.9	12.2	53.3	5.6	0.0	63.3	32.2▲	4.4
	民間企業被用者	961	30.3	10.5	39.3	11.0	0.2	54.3	42.7	3.0▲
	小企業被用者	179	25.1	5.6	31.3▲	2.2▲	0.0	44.1▲	51.4	4.5
	中企業被用者	472	32.2	11.4	40.0	9.7	0.4	56.1	40.9	3.0
	大企業被用者	297	30.6	11.8	43.4	18.5	0.0	57.9	40.1	2.0
	非正規社員	168	22.6	8.3	31.0▲	4.8▲	0.0	43.5▲	53.0	3.6
無職	499	24.8	8.2	47.7	13.0	0.2	56.7	40.1	3.2	
本人年収	収入はない	103	10.7▲	1.9▲	12.6▲	1.9▲	0.0	21.4▲	60.2	18.4
	300万円未満	716	22.5▲	7.8	37.3▲	8.1▲	0.3	48.3▲	48.5	3.2
	300～500万円未満	446	29.6	11.2	38.3	10.1	0.2	54.0	43.3	2.7
	500～700万円未満	292	35.3	11.6	46.2	14.0	0.3	62.7	35.3▲	2.1
	700～1,000万円未満	171	33.3	13.5	54.4	17.5	0.0	63.7	35.1▲	1.2▲
	1,000万円以上	70	44.3	18.6	65.7	30.0	0.0	80.0	15.7▲	4.3
	女性	2,703	28.0	8.0	40.8	4.6	0.2	53.9	43.2	3.0
本人職業	自営者	199	37.7	12.6	43.2	6.5	1.0	65.3	32.2▲	2.5
	農林漁業	27	40.7	11.1	33.3	0.0	7.4	70.4	25.9	3.7
	商工サービス業	148	37.8	11.5	47.3	7.4	0.0	66.9	31.1▲	2.0
	常雇被用者	673	31.4	9.8	37.1▲	5.5	0.1	53.5	44.7	1.8▲
	公務員	74	31.1	10.8	47.3	4.1	0.0	56.8	43.2	0.0
	民間企業被用者	599	31.4	9.7	35.9▲	5.7	0.2	53.1	44.9	2.0
	小企業被用者	145	26.2	9.0	31.0▲	2.8	0.0	49.0	49.0	2.1
	中企業被用者	261	29.5	8.8	33.0▲	6.1	0.4	49.0	49.0	1.9
	大企業被用者	164	37.2	12.8	43.9	7.9	0.0	61.6	36.6	1.8
	非正規社員	726	28.1	6.5	34.2▲	2.9▲	0.0	48.3▲	49.3	2.3
無職	1,023	25.7▲	7.5	49.7	5.2	0.3	58.7	38.1▲	3.1	
本人年収	収入はない	445	19.6▲	6.3	35.1▲	3.8	0.0	43.4	52.4	4.3
	100万円未満	615	23.6▲	5.0▲	39.3	3.9	0.3	50.4	47.0	2.6
	100～300万円未満	905	29.0	8.1	42.0	4.2	0.2	56.0	41.8	2.2
	300～500万円未満	277	37.9	12.3	42.6	6.9	0.0	60.3	38.3	1.4
	500万円以上	117	47.9	15.4	57.3	12.8	0.0	75.2	24.8▲	0.0

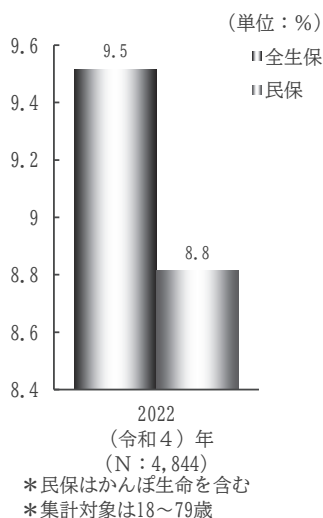
## 5. 介護保障としての生命保険（介護保険・介護特約）

介護保障の準備割合は他の保障領域（医療保障、老後保障、死亡保障）と比較すると低いが、具体的な準備手段として「生命保険」は「預貯金」に次いで利用されている。

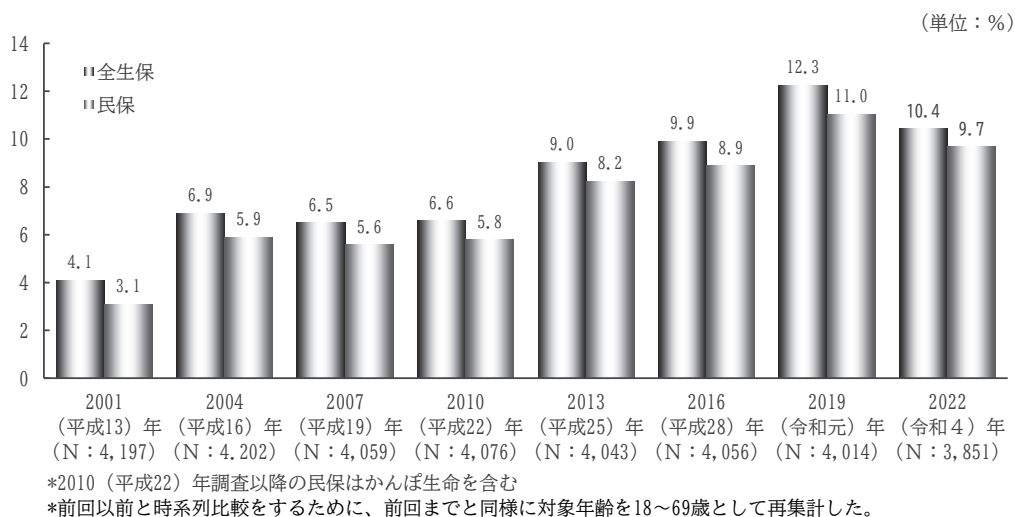
本節では、介護保障としての生命保険という観点から介護保険・介護特約の加入率をみていく。

民間の生命保険会社や郵便局、JA（農協）、県民共済・生協等を取り扱っている介護保険・介護特約の加入率は、9.5%となっている。また、民保では8.8%となっている。（図表V-19）

<図表 V-19> 介護保険・介護特約の加入率



【参考】前回と比較すると、全生保が1.9ポイント、民保が1.3ポイント、それぞれ減少している。



性別にみると、介護保険・介護特約の加入率は全生保が男性で9.0%、女性で9.9%となっている。民保は男性で8.1%、女性で8.7%となっている。

性・年齢別にみると、全生保が男女とも50歳代で、民保が男性30歳代、50歳代、女性50歳代で、それぞれ高くなっている。(図表V-20)

なお、その他の属性別のデータについては巻末の「付属統計資料」に掲載。

<図表 V-20> 介護保険・介護特約の加入率〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N	全生保	民保
男 性	2,141	9.0	8.1
20歳代	235	5.1▲	4.3▲
30歳代	275	12.0	11.6
40歳代	375	10.4	9.3
50歳代	358	13.1	11.5
60歳代	422	8.5	7.8
70歳代	447	5.8▲	5.1▲
女 性	2,703	9.9	8.7
20歳代	210	5.2▲	4.3▲
30歳代	366	9.6	8.7
40歳代	534	12.0	10.5
50歳代	508	15.4	14.2
60歳代	505	9.3	7.7
70歳代	546	6.0▲	4.9▲

\*民保はかんぽ生命を含む

## 6. 介護保障に対する充足感

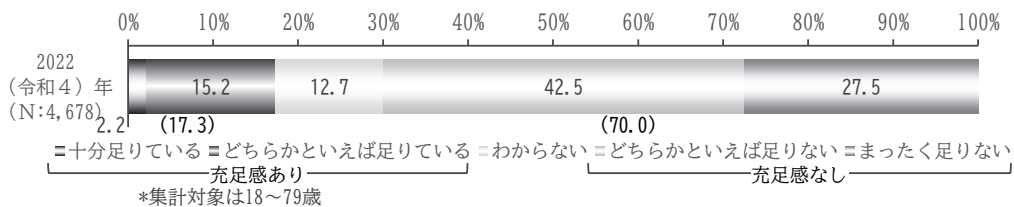
介護に対する私的な経済的準備に公的介護保険を加えた、介護資金準備の充足感を捉えるため、以下のように尋ねた。

現在の備えに、公的介護保険をあわせると、介護される状態になった場合の準備は十分だとお考えですか。

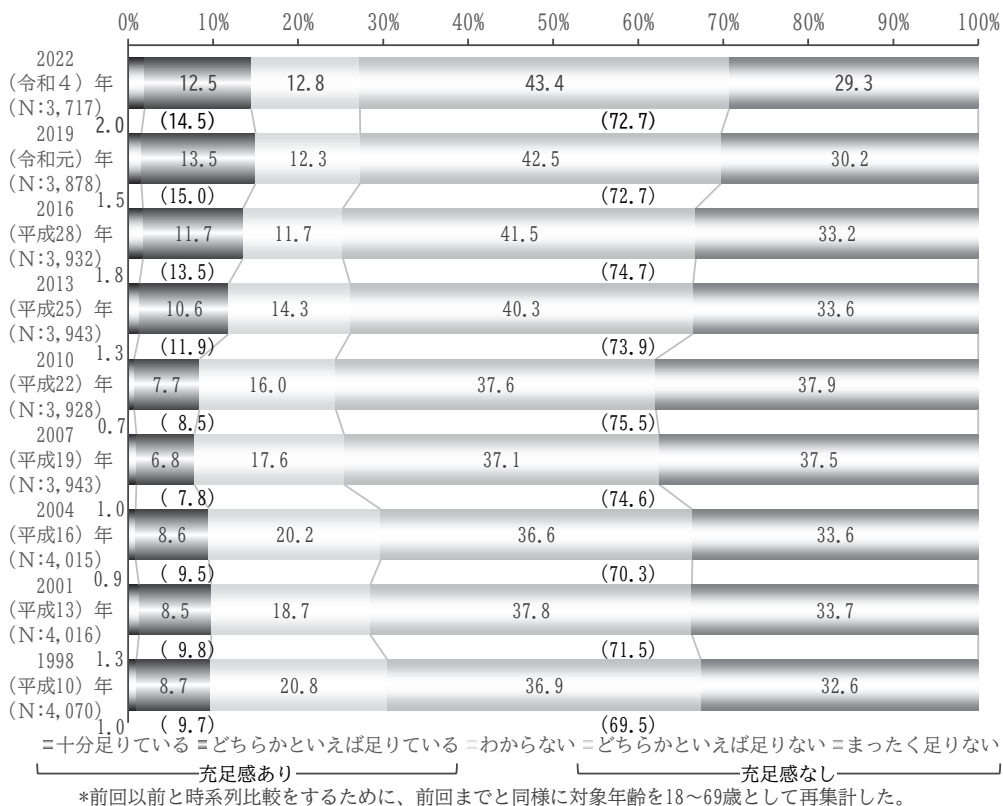
- (ア) 十分足りている
- (イ) どちらかといえば足りている
- (ウ) どちらかといえば足りない
- (エ) まったく足りない
- わからない

その結果、「充足感あり」（「十分足りている」と「どちらかといえば足りている」と回答した人の合計）は17.3%、「充足感なし」（「どちらかといえば足りない」と「まったく足りない」と回答した人の合計）は70.0%と、7割以上の人が「充足感なし」と感じている。（図表V-21）

<図表 V-21> 介護保障に対する充足感



【参考】前回と比較しても、大きな差異はみられない。



性別にみると、「充足感なし」は女性（72.6%）が男性（66.7%）を5.9ポイント上回り、「充足感あり」は男性（19.1%）が女性（16.0%）を3.1ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「充足感なし」は男性40歳代、女性30～50歳代で高くなっている。一方、「充足感あり」は男女とも概ね高年齢層ほど高くなっている。（図表V-22）

<図表 V-22> 介護保障に対する充足感〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N	十分 足りている	どちらか といえ ば足り ている	充足感 あり	わから ない	充足感 なし	どちらか といえ ば足り ない	まっ たく 足り ない
男 性	2,055	2.8	16.3	19.1	14.3	66.7	42.2	24.4
20歳代	211	1.4	3.3▲	4.7▲	25.1	70.1	32.2▲	37.9
30歳代	263	1.1	12.9	14.1▲	14.8	71.1	44.9	26.2
40歳代	359	2.5	11.7▲	14.2▲	13.4	72.4	46.0	26.5
50歳代	350	3.1	14.6	17.7	11.1	71.1	44.9	26.3
60歳代	416	4.6	19.5	24.0	12.7	63.2	45.9	17.3▲
70歳代	432	2.8	27.1	29.9	13.2	56.9▲	38.2	18.8▲
女 性	2,623	1.7	14.3	16.0	11.4	72.6	42.7	30.0
20歳代	195	0.5	4.1▲	4.6▲	24.1	71.3	36.4	34.9
30歳代	355	1.4	8.7▲	10.1▲	12.4	77.5	37.2▲	40.3
40歳代	519	0.2▲	8.1▲	8.3▲	7.1▲	84.6	47.6	37.0
50歳代	499	1.2	12.2	13.4	9.4	77.2	47.7	29.5
60歳代	498	3.0	20.9	23.9	10.8	65.3▲	43.2	22.1▲
70歳代	529	3.0	24.2	27.2	11.3	61.4▲	39.1	22.3▲

性・本人職業別にみると、「充足感なし」は男性では小企業被用者、女性では中企業被用者、非正規社員で高くなっている。

性・本人年収別にみると、「充足感なし」は男性では300万円未満の層で高くなっている。(図表V-23)

<図表 V-23> 介護保障に対する充足感〔性・本人職業別、性・本人年収別〕

(単位：%)

	N	(単位：%)							
		十分 足りている	どちらか といえ ば足り ている	充足感 あり	わから ない	充足感 なし	どちらか といえ ば足り ない	まっ たく 足り ない	
男性	2,055	2.8	16.3	19.1	14.3	66.7	42.2	24.4	
本人職業	自営者	298	3.4	17.4	20.8	13.8	65.4	45.0	20.5
	農林漁業	49	4.1	18.4	22.4	10.2	67.3	51.0	16.3
	商工サービス業	218	3.2	16.5	19.7	13.8	66.5	44.0	22.5
	常雇被用者	1,018	2.7	13.1▲	15.7▲	13.8	70.5	45.4	25.1
	公務員	86	4.7	17.4	22.1	14.0	64.0	47.7	16.3
	民間企業被用者	932	2.5	12.7▲	15.1▲	13.7	71.1	45.2	26.0
	小企業被用者	171	2.9	8.2▲	11.1▲	15.2	73.7	40.9	32.7
	中企業被用者	458	2.0	14.4	16.4	13.3	70.3	43.0	27.3
	大企業被用者	291	3.1	12.0▲	15.1	13.4	71.5	51.5	19.9
	非正規社員	162	0.6	14.2	14.8	13.6	71.6	36.4	35.2
無職	483	3.7	25.1	28.8	13.7	57.6▲	38.7	18.8▲	
本人年収	収入はない	84	0.0	8.3▲	8.3▲	26.2	65.5	28.6▲	36.9
	300万円未満	693	2.5	15.2	17.6	12.1▲	70.3	40.4	29.9
	300～500万円未満	434	2.8	15.7	18.4	14.1	67.5	44.7	22.8
	500～700万円未満	286	1.4	18.5	19.9	11.9	68.2	48.6	19.6▲
	700～1,000万円未満	169	1.8	16.6	18.3	12.4	69.2	46.7	22.5
1,000万円以上	67	14.9	31.3	46.3	11.9	41.8▲	31.3	10.4▲	
女性	2,623	1.7	14.3	16.0	11.4	72.6	42.7	30.0	
本人職業	自営者	194	3.6	19.6	23.2	10.8	66.0▲	41.8	24.2
	農林漁業	26	3.8	19.2	23.1	3.8	73.1	38.5	34.6
	商工サービス業	145	4.1	19.3	23.4	11.7	64.8▲	44.1	20.7▲
	常雇被用者	661	1.7	10.9▲	12.6▲	11.6	75.8	45.8	30.0
	公務員	74	0.0	20.3	20.3	13.5	66.2	47.3	18.9▲
	民間企業被用者	587	1.9	9.7▲	11.6▲	11.4	77.0	45.7	31.3
	小企業被用者	142	1.4	8.5▲	9.9▲	12.0	78.2	45.8	32.4
	中企業被用者	256	2.0	8.6▲	10.5▲	9.8	79.7	44.5	35.2
	大企業被用者	161	2.5	12.4	14.9	11.2	73.9	49.1	24.8
	非正規社員	709	0.3▲	9.4▲	9.7▲	7.6▲	82.7	44.1	38.5
無職	991	2.4	19.6	22.0	12.8	65.2▲	40.1▲	25.1▲	
本人年収	収入はない	426	1.4	11.7	13.1	15.7	71.1	38.0▲	33.1
	100万円未満	599	1.0	12.4	13.4▲	11.0	75.6	41.9	33.7
	100～300万円未満	885	1.7	13.9	15.6	9.8	74.6	44.3	30.3
	300～500万円未満	273	1.1	15.8	16.8	9.5	73.6	44.7	28.9
500万円以上	117	2.6	29.1	31.6	3.4▲	65.0	51.3	13.7▲	

## 7. 介護保障に対する今後の準備意向

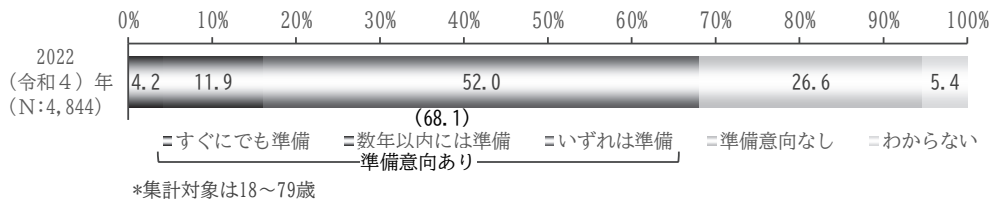
介護に対する現在の経済的準備にプラスして今後新たな準備をする意向があるのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、ご自身が介護される状態になった場合に備えて、今後新たに経済的な準備をしたいとお考えですか。

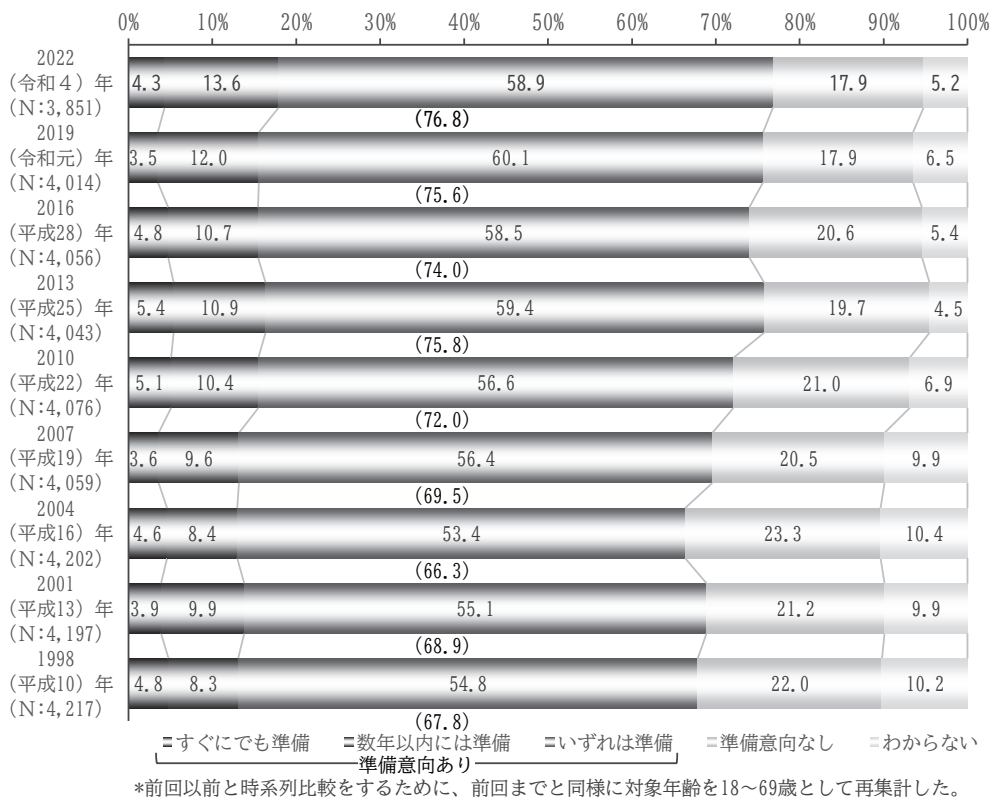
(ア) すぐにも準備したい ……以下「すぐにも準備」  
 (イ) 数年以内には準備したい ……以下「数年以内には準備」  
 (ウ) 特に時期は決めていないが、いずれは準備したい ……以下「いずれは準備」  
 (エ) まったく準備するつもりはない ……以下「準備意向なし」  
 わからない

その結果、「準備意向あり」(上記の選択肢で(ア)～(ウ)のいずれかに回答した人の合計)は68.1%、「準備意向なし」は26.6%となっている。(図表V-24)

<図表 V-24> 介護保障に対する今後の準備意向



【参考】前回と比較すると、「数年以内には準備」が1.6ポイント増加している。





性別にみると、「準備意向あり」は女性（70.3%）が男性（65.2%）を5.1ポイント上回っている。  
 性・年齢別にみると、「準備意向あり」は男女とも20～50歳代で高くなっている。（図表V-25）

<図表 V-25> 介護保障に対する今後の準備意向〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N				準備意向あり	準備意向なし	わからない
		すぐにも準備	数年以内には準備	いずれは準備			
男 性	2,141	3.8	11.2	50.2	65.2	28.8	6.0
20歳代	235	2.6	13.6	66.0	82.1	8.9▲	8.9
30歳代	275	3.6	12.4	63.3	79.3	15.6▲	5.1
40歳代	375	4.3	13.9	65.1	83.2	12.0▲	4.8
50歳代	358	5.0	17.9	56.4	79.3	17.3▲	3.4▲
60歳代	422	3.3	8.3▲	41.7▲	53.3▲	40.3	6.4
70歳代	447	3.8	4.7▲	23.0▲	31.5▲	60.9	7.6
女 性	2,703	4.4	12.5	53.4	70.3	24.8	4.9
20歳代	210	2.9	9.5	70.5	82.9	9.0▲	8.1
30歳代	366	1.9▲	12.6	72.1	86.6	9.6▲	3.8
40歳代	534	3.6	14.4	68.9	86.9	8.4▲	4.7
50歳代	508	6.5	17.1	60.6	84.3	11.6▲	4.1
60歳代	505	7.3	14.9	36.0▲	58.2▲	36.4	5.3
70歳代	546	3.3	5.9▲	27.1▲	36.3▲	59.3	4.4

性・本人職業別にみると、「準備意向あり」は男女とも常雇被用者および女性の非正規社員で高くなっている。(図表V-26)

<図表 V-26> 介護保障に対する今後の準備意向〔性・年齢別〕

(単位：%)

	N				準備意向あり	準備意向なし	わからない
		すぐにも準備	数年以内には準備	いずれは準備			
男性	2,141	3.8	11.2	50.2	65.2	28.8	6.0
自営者	307	5.2	14.0	50.8	70.0	25.7	4.2
農林漁業	50	6.0	4.0	50.0	60.0	36.0	4.0
商工サービス業	225	4.9	15.1	51.1	71.1	24.9	4.0
常雇被用者	1,051	3.7	13.3	60.2	77.3	17.8▲	4.9▲
公務員	90	5.6	8.9	61.1	75.6	15.6▲	8.9
民間企業被用者	961	3.5	13.7	60.1	77.4	18.0▲	4.6▲
小企業被用者	179	3.9	13.4	57.0	74.3	20.7▲	5.0
中企業被用者	472	4.2	13.1	59.7	77.1	18.2▲	4.7
大企業被用者	297	2.4	15.2	62.3	79.8	15.8▲	4.4
非正規社員	168	4.2	10.1	48.2	62.5	30.4	7.1
無職	499	3.0	5.8▲	27.3▲	36.1▲	56.1	7.8
女性	2,703	4.4	12.5	53.4	70.3	24.8	4.9
自営者	199	7.5	9.5	50.8	67.8	26.6	5.5
農林漁業	27	11.1	0.0▲	55.6	66.7	29.6	3.7
商工サービス業	148	8.1	12.2	50.0	70.3	25.7	4.1
常雇被用者	673	3.6	16.2	64.2	84.0	11.9▲	4.2
公務員	74	0.0	9.5	75.7	85.1	9.5▲	5.4
民間企業被用者	599	4.0	17.0	62.8	83.8	12.2▲	4.0
小企業被用者	145	4.8	12.4	64.8	82.1	13.1▲	4.8
中企業被用者	261	3.8	19.2	62.8	85.8	10.3▲	3.8
大企業被用者	164	3.0	17.1	62.8	82.9	13.4▲	3.7
非正規社員	726	5.4	13.8	60.7	79.9	14.9▲	5.2
無職	1,023	4.0	10.4▲	40.4▲	54.7▲	41.0	4.3

## 8. 介護の資金をまかなう手段

自分自身が要介護状態になった場合に、どのような手段で介護費用をまかなっていかうと考えているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、ご自身が介護される状態になった場合に、どのような手段で介護費用をまかなっていかうとお考えですか。これから準備しようとお考えのものも含めて、この中からいくつでもお答えください。

- (ア) 公的介護保険
- (イ) 公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）
- (ウ) 企業年金・退職金
- (エ) 民間の生命保険会社や郵便局、J A（農協）などで取り扱っている介護関係の特約や介護関係の生命保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）……………以下「生命保険」
- (オ) 民間の生命保険会社や郵便局、J A（農協）などで取り扱っている個人年金保険・変額個人年金保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）……………以下「個人年金保険・変額個人年金保険」
- (カ) 介護費用保険などの損害保険……………以下「損害保険」
- (キ) 預貯金
- (ク) 株式・債券などの有価証券……………以下「有価証券」
- (ケ) 不動産の売却や賃貸などによる収入……………以下「不動産による収入」
- (コ) 子どもからの援助
- (サ) その他  
わからない

その結果、「公的介護保険」が75.4%と最も高く、以下「預貯金」(66.0%)、「公的年金」(64.1%)、「生命保険」(30.1%)の順となっている。(図表V-27)

<図表 V-27> 介護の資金をまかなう手段

(複数回答, 単位: %)

	N	公的介護保険	公的年金	企業年金・退職金	生命保険	個人年金保険・変額個人年金保険*	損害保険	預貯金	有価証券	不動産による収入	子どもからの援助	その他	わからない
2022 (令和4)年	4,844	75.4	64.1	22.2	30.1	10.1	8.8	66.0	8.4	3.3	2.3	0.5	3.7

\*集計対象は18~79歳

【参考】前回と比較すると、「有価証券」が2.9ポイント、「公的年金」が2.8ポイント、それぞれ増加している。

(複数回答, 単位: %)

	N	公的介護保険	公的年金	企業年金・退職金	生命保険	個人年金保険・変額個人年金保険*	損害保険	預貯金	有価証券	不動産による収入	子どもからの援助	その他	わからない
2022 (令和4)年	3,851	74.2	63.7	25.3	31.9	11.1	9.8	65.1	8.4	3.1	1.8	0.4	4.1
2019 (令和元)年	4,014	73.6	60.9	26.3	31.0	10.9	8.2	63.5	5.5	4.8	2.0	0.2	5.0
2016 (平成28)年	4,056	76.9	63.8	25.7	29.6	11.0	7.8	64.2	5.4	3.6	2.8	0.7	4.0
2013 (平成25)年	4,043	74.1	59.8	23.7	26.9	10.3	6.5	59.4	4.4	2.7	3.1	0.8	4.4
2010 (平成22)年	4,076	75.6	59.2	22.6	26.0	11.3	6.1	60.9	4.4	3.1	3.2	0.9	5.1
2007 (平成19)年	4,059	74.9	59.0	21.9	28.9	12.8	7.3	58.5	4.8	4.0	3.4	0.6	6.4
2004 (平成16)年	4,202	73.7	61.0	18.5	30.4	12.8	5.7	57.2	4.1	3.6	4.7	0.5	7.6
2001 (平成13)年	4,197	71.2	61.9	24.1	32.5	15.9	7.4	59.0	4.2	3.5	4.2	0.5	7.3
1998 (平成10)年	4,217	48.3	59.6	22.4	33.7	18.8	6.4	58.9	3.7	4.0	4.9	0.4	10.1

\*2004 (平成16)年調査以前は「個人年金保険」

\*前回以前と時系列比較をするために、前回までと同様に対象年齢を18~69歳として再集計した。

性別にみると、「生命保険」、「個人年金保険・変額個人年金保険」、「子どもからの援助」は女性の方が高く、「企業年金・退職金」、「有価証券」、「不動産による収入」は男性の方が高くなっている。

性・年齢別にみると、「公的介護保険」は男性60~70歳代、女性70歳代で高くなっている。また、「生命保険」は男性40~50歳代、女性30~60歳代で高く、「個人年金保険・変額個人年金保険」は男性40~50歳代、女性40歳代で高くなっている。(図表V-28)

<図表 V-28> 介護の資金をまかなう手段〔性・年齢別〕

(複数回答, 単位: %)

	N	公的介護保険	公的年金	企業年金・退職金	生命保険	個人年金保険・変額個人年金保険*	損害保険	預貯金	有価証券	不動産による収入	子どもからの援助	その他	わからない
男性	2,141	74.1	64.5	29.1	28.6	9.1	9.5	65.1	11.6	4.1	1.8	0.8	3.7
20歳代	235	66.0▲	55.7▲	31.9	20.9▲	4.3▲	11.1	63.8	6.0▲	0.9▲	1.7	0.4	9.4
30歳代	275	67.6▲	64.0	38.9	32.7	6.9	10.9	68.0	14.2	2.5	0.7	0.0	4.4
40歳代	375	70.7	66.9	33.9	34.4	12.5	10.7	62.9	9.1	3.2	1.3	0.8	3.2
50歳代	358	74.6	65.1	37.2	36.0	15.4	11.7	65.1	11.7	5.9	1.7	0.8	3.1
60歳代	422	80.1	66.1	24.9▲	26.3	10.0	9.2	63.3	13.7	5.9	1.7	0.9	1.4▲
70歳代	447	80.5	66.2	15.2▲	22.6▲	4.5▲	5.4▲	67.6	13.4	4.7	3.1	1.6	2.5
女性	2,703	76.5	63.9	16.7	31.4	10.9	8.3	66.6	5.8	2.6	2.7	0.3	3.7
20歳代	210	68.6▲	58.6	28.1	21.0▲	8.6	11.9	58.6▲	4.8	0.5▲	1.4	0.0	11.4
30歳代	366	76.8	63.4	24.3	36.9	8.2	10.1	67.5	6.0	2.2	0.5▲	0.0	3.3
40歳代	534	74.7	62.2	22.3	36.1	14.6	8.1	64.2	6.2	1.9	1.7	0.4	3.9
50歳代	508	78.9	66.7	17.5	36.6	13.0	11.4	66.7	5.5	3.0	3.0	0.2	2.4
60歳代	505	77.0	65.1	11.1▲	30.7	12.1	6.5	69.1	7.9	3.8	2.8	0.6	2.2▲
70歳代	546	79.7	65.6	5.9▲	23.8▲	7.3▲	4.8▲	70.7	4.2	3.3	5.1	0.4	1.8▲

性・本人職業別にみると、「生命保険」は男性の公務員、中企業被用者、大企業被用者、女性で農林漁業、小企業被用者、大企業被用者で高く、「個人年金保険・変額個人年金保険」は男性の商工サービス業、中企業被用者、大企業被用者で高くなっている。

性・本人年収別にみると、「企業年金・退職金」、「生命保険」は男女とも概ね高年収層ほど高くなっている。また、「個人年金保険・変額個人年金保険」は男性では500万円以上の層で、女性では300～500万円未満の層で、それぞれ高くなっている。(図表V-29)

<図表 V-29> 介護の資金をまかなう手段〔性・本人職業別、性・本人年収別〕

(複数回答, 単位: %)

	N	公的介護保険	公的年金	企業年金・退職金	生命保険	額個人年金保険・変	損害保険	預貯金	有価証券	不動産による収入	子どもからの援助	その他	わからない	
男性	2,141	74.1	64.5	29.1	28.6	9.1	9.5	65.1	11.6	4.1	1.8	0.8	3.7	
本人職業	自営者	307	77.5	60.3	10.1▲	32.2	14.7	12.7	70.7	13.0	8.8	1.6	0.7	1.3▲
	農林漁業	50	78.0	62.0	6.0▲	30.0	8.0	6.0	70.0	8.0	18.0	2.0	0.0	0.0
	商工サービス業	225	77.8	61.3	12.0▲	30.7	16.0	14.7	70.2	13.3	8.0	1.8	0.9	1.8
	常雇被用者	1,051	72.2▲	66.1	41.7	34.2	10.9	10.3	65.9	11.6	3.7	1.8	0.3▲	3.0
	公務員	90	74.4	71.1	50.0	41.1	13.3	12.2	73.3	7.8	4.4	1.1	0.0	3.3
	民間企業被用者	961	72.0▲	65.7	40.9	33.5	10.7	10.1	65.2	12.0	3.6	1.9	0.3▲	3.0
	小企業被用者	179	74.3	67.0	22.9	27.4	4.5▲	5.6	62.0	4.5▲	3.9	2.2	0.6	3.9
	中企業被用者	472	73.5	64.8	40.9	35.0	11.4	10.6	64.6	9.5	3.8	1.5	0.2	3.2
	大企業被用者	297	68.0▲	66.0	51.5	35.4	13.8	12.1	69.4	20.2	3.4	2.4	0.3	2.0
	非正規社員	168	82.1	66.1	18.5▲	23.2	8.3	11.3	56.5▲	6.0▲	1.2▲	2.4	0.0	5.4
無職	499	76.6	65.1	19.4▲	19.2▲	3.8▲	6.0▲	63.9	14.4	4.0	1.8	2.6	3.2	
本人年収	収入はない	103	62.1▲	48.5▲	18.4▲	11.7▲	2.9▲	10.7	51.5▲	4.9▲	0.0▲	1.0	3.9	18.4
	300万円未満	716	75.7	64.7	18.3▲	21.8▲	5.7▲	6.8▲	62.8	9.5▲	2.8▲	2.1	1.4	2.7
	300～500万円未満	446	75.8	69.5	31.2	30.0	10.5	12.1	62.8	11.9	4.5	2.5	0.4	1.8▲
	500～700万円未満	292	74.3	68.2	42.5	41.4	13.0	9.9	69.5	15.4	4.8	0.3▲	0.0	1.4▲
	700～1,000万円未満	171	71.9	64.9	52.0	39.2	13.5	13.5	78.4	17.5	5.3	2.3	0.0	0.0▲
	1,000万円以上	70	71.4	64.3	44.3	31.4	18.6	18.6	71.4	34.3	15.7	0.0	1.4	1.4
女性	2,703	76.5	63.9	16.7	31.4	10.9	8.3	66.6	5.8	2.6	2.7	0.3	3.7	
本人職業	自営者	199	75.4	59.8	3.5▲	34.7	13.6	9.5	66.8	7.5	6.5	2.0	0.5	2.5
	農林漁業	27	70.4	55.6	0.0▲	51.9	7.4	7.4	59.3	0.0	14.8	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業	148	76.4	62.2	4.1▲	32.4	15.5	10.1	69.6	7.4	4.7	1.4	0.7	2.7
	常雇被用者	673	75.6	65.4	33.0	38.3	12.6	10.1	65.1	6.7	1.6	1.3▲	0.0	3.9
	公務員	74	82.4	73.0	47.3	36.5	13.5	9.5	70.3	9.5	4.1	0.0	0.0	2.7
	民間企業被用者	599	74.8	64.4	31.2	38.6	12.5	10.2	64.4	6.3	1.3▲	1.5▲	0.0	4.0
	小企業被用者	145	73.8	62.1	22.1	39.3	9.0	8.3	52.4▲	4.8	2.1	0.7	0.0	5.5
	中企業被用者	261	74.3	64.4	30.7	34.9	13.8	9.6	65.9	6.1	1.5	1.9	0.0	4.2
	大企業被用者	164	76.2	67.1	40.2	43.9	12.8	14.0	70.1	8.5	0.6	1.8	0.0	3.0
	非正規社員	726	76.0	62.9	14.2▲	32.8	12.1	10.3	62.7▲	4.4	1.7	3.0	0.1	3.0
無職	1,023	78.0	65.4	9.6▲	26.6▲	8.9▲	5.5▲	71.7	6.0	3.3	3.4	0.6	2.9	
本人年収	収入はない	445	74.6	59.3▲	12.4▲	29.4	7.4▲	7.6	68.5	5.8	3.1	2.0	0.9	6.7
	100万円未満	615	78.5	62.1	13.5▲	27.6▲	8.3▲	7.0	66.8	4.4	2.1	2.9	0.0	2.0▲
	100～300万円未満	905	78.5	67.8	14.4▲	32.0	12.3	8.2	65.6	4.9	2.5	3.5	0.2	2.5▲
	300～500万円未満	277	74.7	65.0	32.9	38.6	17.0	11.6	70.0	10.5	2.2	1.1	0.0	2.5
	500万円以上	117	76.9	64.1	42.7	47.9	13.7	11.1	81.2	14.5	4.3	2.6	0.9	0.9